

○ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化する中、平田川水系においても、流域全体でハード・ソフト一体となった事前防災対策を進める必要があることから、あらゆる関係者の協働により、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修
- ・河川浚渫
- ・ポンプ場の改修
- ・森林の整備・保全および治山対策

### ■被害対象を減少させるための対策

- ・水害リスクを考慮したまちづくり
- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知
- ・河川監視体制の強化
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達
- ・出前講座等を活用した防災教育の推進
- ・防災士等の人材の育成・確保
- ・自主防災組織の育成や活動の支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進



改修前(平田川)

改修後(平田川)



平成26年8月 浸水被害状況



平成14年9月 浸水被害状況



#### 凡例

- |  |                      |  |                |
|--|----------------------|--|----------------|
| <span style="color: blue;">—</span>                                      | 二級河川                 | <span style="color: green;">—</span>                                     | 流域界            |
| <span style="background-color: blue; width: 10px; height: 10px;"></span> | 洪水浸水想定区域【計画規模(1/30)】 | <span style="background-color: cyan; width: 10px; height: 10px;"></span> | 洪水浸水想定区域【想定最大】 |
| <span style="border: 1px dashed red; width: 10px; height: 10px;"></span> | 洪水浸水想定区域図の公表済み区間     |  |                |

※地理院地図に浸水想定範囲を追記して掲載

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 平田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の工程で「流域治水」を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程				
			短期	中期	中長期		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修	山口県	護岸工、橋梁工、河道掘削工等				
	河川浚渫	山口県	河川浚渫				
	ポンプ場の改修	岩国市	R5完了予定	平田ポンプ場			
				小舛ポンプ場			
被害対象を減少させるための対策	森林の整備・保全及び治山対策	山口県	森林の整備・保全、治山対策				
	水害リスクを考慮したまちづくり	岩国市	立地適正化計画の運用・改定				
	防災まちづくりの検討に必要な情報の整備	山口県	多段階な浸水リスク情報				
	浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知	山口県、岩国市	作成・周知・利活用 R5山口県土木防災情報システムのリニューアル				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川監視体制の強化	山口県、岩国市	システム更新	簡易型水位計・河川監視カメラ等の整備・利活用			
	防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達	山口県、岩国市	機能強化・普及・啓発				
	出前講座等を活用した防災教育の推進	山口県、岩国市	防災教育の充実・強化				
	防災士等の人材の育成・確保	岩国市	防災士資格取得補助金制度の運用				
	自主防災組織の育成や活動の支援	山口県、岩国市	率先避難体制の整備・地域防災力の向上				
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進	山口県、岩国市	避難の実効性の確保				

気候変動を踏  
まえたさらなる対策を推進